

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の平成27年度第1回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 平成27年5月21日（木） 13：30～15：30

会 場 北九州市庁舎15階 特別会議室B

平成27年度 第1回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

平成27年度 第1回 北九州市入札等監視委員会

2 開催日時・会場

開催日時 平成27年5月21日（木）13:30～15:30

会場 北九州市庁舎15階 特別会議室B

3 出席委員

藤田 賢一郎、今泉 恵子、上地 和久、菊池 裕子

4 議事

(1) 平成26年度第4四半期の工事契約状況等の報告

次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について
- ・建設工事に係る入札不調の状況について
- ・物価スライド等による契約変更について

(問) 暴力団排除関係を理由とした指名停止の事例はあるのか。

(答) 北九州市暴力団排除条例及び北九州市安全・安心条例の規定に基づき、暴力団員が事業主または役員となっている者、実質的に暴力団員がその運営に参与している者等の暴力団と密接な関係を有する者を市が実施する入札に参加させない等の必要な措置を講じるようにしているところである。

(問) 国のインフレスライド条項の趣旨及び公共工事設計労務単価の特例措置を受け、本市でも契約変更の措置を行ったとのことだが、業者には何らかの形で周知したのか。

(答) 北九州市契約室ホームページでも周知し、受注者にも個別に説明したところである。

(2) 平成26年度第4四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、平成26年度第4四半期に契約をした工事の中から、今泉委員が10件（契約室契約分8件、上下水道局契約分2件）を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 中学校空調設備設置電気工事（電気工事）で指名業者数が72者と非常に多いのはなぜか。

(答) 今回の工事はモデル事業であり、全市の業者に受注機会を与えるため、全者を指名したものである。

(問) 全者指名ということなら、一般競争入札でよかったのではないか。

(答) 予定価格が1, 200万円以上の電気工事の場合、一般競争入札の対象となるので、本件工事は予定価格が1, 067万円であることから、指名競争入札となる。ご指摘のとおり、状況は一般競争入札とは変わらない。

(問) アンダーパス冠水警報表示板設置工事（電気通信工事）で工事名や予定価格はほぼ同じなのに落札率に開きがあり、入札方法の違いがあるがなぜか。

(答) 今回の工事は大雨対策であるため、梅雨までには完成させたい意向があった。国の補助金決定の関係もあり、入札が遅くなり、工期が年度末までであるため、辞退数も多く、落札者がいない案件は特命契約となり、落札率も高止まったものである。

(問) 埋立地浸出水公共下水道（圧送管）布設工事（土木工事）で、工事名も予定価格がほぼ同じなのに落札率に開きがあるがなぜか。

(答) 工事名や予定価格がほぼ同じなのは、工区分割したため。

どちらも応札者のほとんどが最低制限価格を下回った。一方は予定価格とほぼ同額の1者しか残らず、落札率が高くなったが、もう一方は2者残ったため、競争性が発揮され、落札率が低くなったものである。

- ※
- 1 次回の工事の抽出は、上地委員が担当することとなった。
 - 2 次回の委員会は、平成27年8月20日（木）に開催することとなった。